

ふるさと応援団木島平会会報

暑いかとアイディア村を元気に!

8月2日から7日までの6日間、早稲田大学生20人が村を訪れ、地域や集落の現況などの調査を行いました。これは、今年から村が進める「木島平「村格」形成による農村・都市共生プロジェクト」の一事業として進めているもので、官・学・民が連携して村をもっと元気にしようとするものです。期間中は下高井農林高校生も一緒に参加し、村内の視察や集落に入り、地元の人からの聞き取りや話し合いを行いました。

村が抱える「少子高齢化・集落力の再生・農村資源活用」などの課題は木島平だけに限った問題ではありません。早大生など若い人がアイディアを出し、地元や行政と一緒に日本ふるさと農山村の再生に向けて今後取り組んでいく予定です。



ふるさと木島平と私

森 信夫

春は、雪が消えた土手の所からふきのとうが芽を出し、木々も芽吹き花も咲き、夏は一面緑豊かに小鳥のさえずりや、田植えの頃には蛙の音がいつぱい聞かれ、私の子どもの頃は蛍も飛んでいました。秋は黄金色のお米が実り、高い山から紅葉が始まり、冬には白一色綿帽子を被った様な静かな銀世界になりました。四季に恵まれた新鮮な空気に満ちたそんな木島平が私は好きです。

小学生の高学年の頃、夏休みになると新橋の上流が水泳場として使われ、皆で夢中で泳ぎました。気がつくとも体が冷えて唇が紫色になり急いで水から上がり、堤防に敷かれた石畳に腹這いになり温まりました。また、同じ頃、友達と高社山に登ったことがありますが、今のようリフトがなかったため、途中急斜面等があり、登頂するのに大変でした。それだけに登り切った時の気分は爽快そのものでした。そんな思い出が今も懐かしく心に残っております。今、高社山は、スキー場となりホテルにリフト、やまびこの丘公園、テニスコート、ここにコファームなどいろいろでき、交通も便利になりました。大変な変わり様です。

年に一度、夏に帰り墓参りを済ませて来ます。

カヤの平も美しいキャンプ場や牛の放牧、道も舗装されてとても行きやすくなりました。少し前に兄弟の家族みんなでカヤの平に行った時の写真です。秋もとても美しい紅葉が見られるので、その頃に遊びに行きたいと思っております。



☆区民の声☆ 元気な活動や自慢、今後の展望を紹介

西町区

地区のテーマ 大正公園の歴史で築くふるさと

「いとふかき 神のめぐみのあらわれて 植えし桜の さかりなりけり」。大正公園入り口にある、関庄助の歌碑に刻まれている言葉です。園内の満開の桜を呼んだ句で、「造園は区民の汗の結晶で、神の心に通じてこれほど美しく咲いたのだろうか、本当に有り難いことである」という意味です。大正公園は大正天皇の御大典を記念して区民総出で作り上げた公園で、徳倉社、観月堂（現在の高山神社）、桜並木、石碑等があり人々の憩いの場でありました。

しかしながら、現在は足を運ぶ人も少なく、荒れた状態になっています。西町区では、先人が残したこの大切な公園を、区民の手で桜などの植樹や整備を行い、歴史を学びながら楽しむことができる公園として復活させることを地区づくりの中心に据え現在取り組んでいます。

また、防災ダムを有効活用し大正公園と合わせ、観光利用できるような個性ある地域づくりを目指します。



区民の憩いの公園として復活が望まれる「大正公園」

▲区民の憩いの公園として復活が望まれる「大正公園」

協働のフラワーロード その2 除草

7月28日、協働のフラワーロードの草取り作業を行いました。定植をして約3週間、植えたサルビアも順調に育ち花が咲き出してきました。今年は梅雨明けしてから、毎日のように雨が降り、そのため草も例年になく生い茂っていました。

当日は、村民の皆さんをはじめ、下高井農林高校生徒ら約30人が参加し、400メートルの花壇に悪戦苦闘しながらも何とか作業を終えることができました。参加者からは「400メートルの花壇は長いですね。正直今日中に終わると思っていまませんでした。大勢の力ってすごいですね。」との声もありました。

これからお盆などで帰省する方もいると思います。村の入口を飾る真っ赤な「協働のフラワーロード」は村が進めている「協働の村づくり」の象徴とも言えるのではないのでしょうか。村を訪れた際は、是非一度ご覧下さい。



ようこそ木島平へ 協働のフラワーロード

下高井農林高校 協働の村づくり推進委員会 協働の村づくり推進委員会 協働の村づくり推進委員会